

2015年10月

第61号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

安保法案成立

今国会、最大の焦点だった安全保障関連法案が、与党・自民、公明両党と野党・元気、次世代、改革の計5党の賛成多数で可決、成立した。

安保関連法案は、自衛隊法など既存の法律10本をまとめて改正する一括法「平和安全法制整備法」と自衛隊海外派遣を随時可能にする新たな恒久法「国際平和支援法」の2本からなる。

「一括法」は、政府が昨年7月憲法解釈を変更して限定的に集団自衛権行使を容認する閣議決定された際の「武力行使3要件」が盛り込まれ、「国際平和支援法」では、国際平和維持活動(PKO)に参加する自衛隊員の武器使用権限を強化し、一定地域の治安を維持する「安全確保活動」や、武装集団などに襲われた国連関係者等を助けに行く「駆けつけ警護」も出来るようになった。

なお、元気、次世代、改革の野党3党が自衛隊の海外派遣への事前承認など国会関与強化について付帯決議を求めていたが、9月19日政府は持ち回り閣議において「趣旨を尊重し適切に対処する」ことに決定した。

与党が野党3党と協議を重ね、現実的な妥協を図り、付帯決議で「国民の生死に関わる場合を除き、事前承認する」方向で決着を見たことは評価できる。

しかし、この法案「共同通信世論調査」によると「国会審議が尽くされていない」79%、「国民への説明十分でない」81%と極めて評判が悪い。

これは、与野党に責任がある。220時間にも及ぶ審議をしながら核心となる「日本と国際社会の平和をいかに確保するのか」といった本質的な安全保障論議が進まなかった。まず、基本的に我が国を取り巻く安保環境の変化をどう認識し、その一致を見てそれにどう対処すべきか論じられなければならない。安保問題は本来、与野党を超えて意見を出し合い広く「合意形成」を目指すべき問題である。

今回は政府が選任した公聴会の委員が「法案は違憲」との意見を述べ、磯崎首相補佐官が「法的安定性は関係ない」と失言し、政府の法案説明が二転三転するなど不手際が目立った。

また、野党第一党で政権担当経験のある民主党が対案を提出せず「違憲」論争を中心とした法案成立阻止を狙い、岡田代表が「あらゆる手段を講じて廃案に追い込む」ことに全力を注ぐと声明し、会議出席を妨害するピケや暴力行為もみられ、本来の議論がおざなりとなり長時間審議にも拘らず国民の理解が進まなかった要因となっている。

法整備だけで有事の備えが万全と言えるわけではない。今後は、まず国民の理解を得られるよう全力を挙げると同時に、周辺国との摩擦解消のため積極外交を展開し、真に戦争のない平和な国づくりに邁進していただきたい。

「役職疲労ではないか」

慶應義塾大学 名誉教授 村田 昭治

基本的には経営者、リーダーは個々人がどんな人間であるかという、その人のもっている属人性によって彩られているのではないか。だから経営者、リーダーは、会社を変えるとか会社の将来を決する新しいビジネス構想、ビジネスデザインは自分だけができる特権であって、それゆえやらねばならないという意識をつねにもっているわたしは想っている。

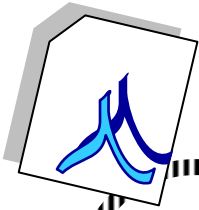
しかし航空機が金属疲労を起こすように、経営者、リーダーの座に長くいると、いつのまにか役職疲労が出てきて自分をリセットできなくなる。そこでリーダーはつねに自分をリセットしてまたやり直す“リセット アンド スタート”が、ひじょうに大事な人間としての条件であろうと思う。

経営者、リーダーは毎日、毎瞬間、場面がちがうなかで自分のもっている属人性、つまり個性と才能ゆたかに自分が会社を変えていくのだという意欲と、会社の将来を決定するビジネス デザイナーなのだという特権をもっていることを想うだけで、全身が熱くなっていくのではないか。同時に役職疲労というようなものは、どこかへすっ飛ぶのではあるまいか。

ところが一方、経営者のなかに、“リセット アンド スタート”が足りないのではないかと想われる人が多い。横並びで競争相手を見ていて、末端の顧客の価値をどう見ているのか。その顧客価値について徹底的に議論し顧客対応力ができているか。自分はこの分野で、このドメインで自分のもっているコア コンピタンス(中核的競争能力)を確実に発揮できているか。パリティブレイク(平均値を破る)の気概、志、野心が不足ではないかと気にかかる。

横並びの競争を絶対してはいけないというのではない。会社の背骨といえる自社のコア コンピタンスに「選択と集中」がなければ、仕事の量は増えても付加価値は上がっていかないし、動いてはいるけれど利益は上がっていかない。選ばれた客に集中的に、徹底的に奉仕する(コンシェルジュ)迫力を欠くことにもなるといいたいのだ。





江戸川 乱歩 (本名平井太郎) 推理小説作家

- 1894年(明治27年)10月21日 三重県名賀郡役所書記の平井繁男・きくの長男として生まれる。
2歳のころ鈴鹿郡亀山町に引っ越し、翌年名古屋市に移る。
小学生のころ母に読み聞かされた探偵小説に接する。
中学では、押川春浪や黒岩涙香の小説で耽読。
愛知県立第五中学校卒業後、早稲田大学政治経済学部入学。
卒業後、貿易会社社員、古本屋、シナ蕎麦屋などの仕事。
- 1923年(大正12年) 新青年に掲載された「二銭銅貨」で文壇にデビュー。
欧米の探偵小説に強い影響を受け、黎明期の日本探偵小説界に大きな足跡を残した。
通俗探偵小説は昭和初期から一般大衆に歓迎された。
海外作品に通じ翻案性の高い「緑衣の鬼」「三角館の恐怖」「幽鬼の塔」などを残す。
少年向けでは明智小五郎と小林少年や少年探偵団が活躍する「怪人二十面相」などがある。
乱歩は評論家、プロデューサーとしても活躍、探偵小説誌「宝石」の編集・経営に携わる。
また、日本探偵作家クラブ創立に尽力、同クラブに私財100万円を寄付江戸川乱歩賞が制定された。
- 1965年(昭和40年)7月28日 くも膜下出血のため70歳で没した。
日本推理作家協会初代理事長。正五位勲三等瑞宝章授与。
推理作家協会葬が行われた。

オススメの BOOK



『朝が来る』

作者 辻村 深月 文芸春秋

作家は直木賞を受賞している。
長く不妊治療で悩む夫婦。望まれない子供の出産で「特別養子縁組」が成立。
親子や家族の在り方を問う作品。子を持つこと、持たないこと、持てないこと
など人それぞれが持つ複雑な関係の中でなかなか光を見いだせない「長いトン
ネル」を経て、かすかな光が遠くに見えてきたような、現実なのか夢の中での
出来事なのか不思議な作品だ。苦しみの中で生き続ける人々に少しでも力を貸
してあげたい幸せになってほしい。

くらしと保険のおはなし



近づくマイナンバー制度

住民票を持つ全国民に個人番号が振られ所得や納税実績、社会保障など各行政組織で違っていた番号を自分に割り当てられた番号で一括管理する制度が28年1月より開始されます。

<制度実施の流れ>

2015年10月～

自治体が通知カードを順次発送

マイナンバーの通知を住民票の住所へ送付。

※会社員やパート、アルバイトは勤務先に番号を提示。

2016年1月～

利用開始

社会保障、税、災害対策の手続きで、マイナンバーの利用がスタート。申請者には個人番号カードを交付。(マイナンバーが記録された顔写真入りのICカードで本人確認に利用できる公的身分証明書として利用可能)

2017年1月～

マイナポータル(個人毎のポータルサイト)の運用開始

マイナンバーを含む自分の情報をいつ、誰が、なぜ提供したのかを確認できるサイト。行政機関からの通知も受取り可能。

2018年以降

銀行へのマイナンバー通知

2018年以降、預金者の個人番号を任意で登録するようになり、2021年以降は義務化することも検討されています。

<メリット>

◇新たな身分証明カード
健康保険証や運転免許証、パスポートが一枚で管理できる。

◇公平・公正な社会の実現
所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、負担を不当に免れることや不正受給防止に役立つ。

◇行政の効率化
行政事務が効率化され、災害時には被災者台帳の作成などに活用され、迅速な行政支援が可能になる。

◇国民の利便性の向上
年金や福祉などの申請時に用意する書類が減り行政手続きも簡素化される。

<デメリット>

◇個人情報の流出懸念
なりすましによる被害の危険性がある。

◇金融所得の課税が一本化
将来、金融資産・金融所得が正確に把握できるようになると、金融所得も総合課税になる可能性がある。

12桁のマイナンバーは、個人が特定されないよう無作為に作成されるため家族で連番になることはありません。番号が漏えいし、不正に使われる恐れがある場合を除き変更はされません。

不審な電話や訪問に注意!

不安を感じたら、消費者ホットライン『188』や警察などに相談しましょう。



【編集後記】

今年は忘れもしないうちに「災害」がどんどん発生する。茨城県常総市で鬼怒川の堤防決壊で家屋が流失し死亡者も出る大災害が発生した。「避難勧告」の遅れや「行方不明者」の人名を公表しないことによるトラブルが発生した。極度に個人情報保護を優先し人名を公表しなかったため必死に不明者の捜索活動に多数の人が携わっているとき、不明者といわれる人の多くが「自宅」や「避難所」で無事が確認された。保護法23条では人命等にかかわる緊急事態の際、同意なしで個人情報を第三者に提供できるとなっている。災害対策は今一度再点検していただきたい。